



白を基調とした外壁



1階の作業スペース

伊勢原駅から徒歩7分伊勢原市伊勢原3丁目に法人本部や相談事業の拠点とするために金融機関から融資を受け土地建物を購入、現在2期工事が行われています。

この広報紙が届く頃は完成している予定です。明るい地域福祉の拠点となるべく努力致しますので御支援をよろしくお願い申し上げます。



3階の総務スペース

伊勢原スタジオ



園庭拡張予定地
(前面側より撮影)



園庭拡張予定地
(背面側より撮影)



フェンスを高くして
安全性を高めます。

伊勢原ふたば保育園の前面側の市道拡張計画に合わせ道路と園の間の土地所有者の方に御理解いただき園庭拡張を計画しています。

また開園から15年の節目に合わせ内装改修も行う予定で、渋谷園長をはじめ職員一同、大きな楽しみにしています。

順調にいけば6月頃から工事が始まります。

伊勢原ふたば保育園

編集後記
昨年の8月以降も当法人では、NEWSのページでもご覧の通り表彰状を頂くなど貴重な慶事がありました。また本年は「伊勢原ふたば保育園」の園庭拡張や「伊勢原スタジオの開設」など、皆様のご支援に支えられ順調に事業を進めさせて頂いており、感謝の気持ちでいっぱいです。

社会福祉法人緑友会
各施設のご案内

社会福祉法人緑友会 本部

伊勢原市栗窪605-1 Tel: 0463-73-7221

障害者支援施設 みどり園

伊勢原市栗窪605-1 Tel: 0463-93-4722

障害者支援施設 清川ホーム

愛甲郡清川村煤ヶ谷3293 Tel: 046-288-2911

認可保育所 伊勢原ふたば保育園

伊勢原市高森1391-3 Tel: 0463-92-6226

認定あつぎ保育室 本厚木ふたば保育園

厚木市田村町7-3-2 F Tel: 046-295-2525

知的障害者グループホーム げんき家

伊勢原市桜台2-16-25-201 Tel: 0463-91-7865

就労継続支援事業所 つくし

伊勢原市田中70-5-201 Tel: 0463-92-7900

相談支援事業 つくし相談室

伊勢原市伊勢原3-6-7 Tel: 0463-73-6027

居宅介護事業 移動支援事業 ナイス

伊勢原市伊勢原3-6-7 Tel: 0463-73-6027

「福祉の輪拡げたい」第19号

発行：2013年1月
発行責任者：岩崎尊之（理事長）
編集責任者：諸橋 晃（広報担当理事）
事務局：社会福祉法人緑友会 総務部
伊勢原市伊勢原3-6-7
Tel 0463-73-7221
印刷：カサハラ印刷株式会社
伊勢原市白根475-1

福祉の輪拡げたい

第19号 2013年1月発行

特集 環境省のフォトコンテスト入賞！！

環境省では、毎年「グリーンカーテン・フォトコンテスト」を開催しています。今年は、全国から700作品以上の応募があり入賞は12点。みどり園はアイデア部門の優秀賞として入賞しました。

10月15日に環境省にて表彰式が行われ、谷津龍太郎地球環境審議官より表彰状をいただきました。

そして10月19日には高山松太郎伊勢原市長へ受賞の報告を行いました。

みどり園では地球温暖化対策として平成21年に全館の照明器具のEco化工事を行い、CO2の削減に努める等、できることから取り組んできました。

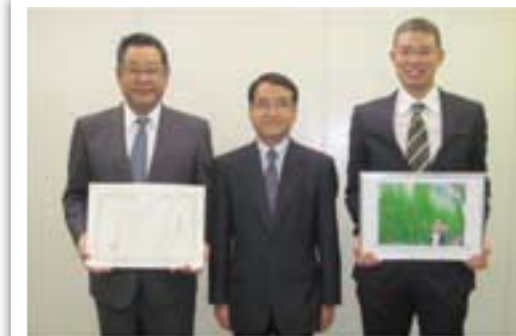
今回は、「グリーンカーテン」を通しての貢献を目指し、春先に利用者さんと職員でアサガオとゴーヤの種まきを行いました。順調に育ちながらも、6月に台風の被害を受け、落胆したこともありましたが、気を取り直し、その後も毎日の水まきを続けた結果、受賞作品のような見事なグリーンカーテンができあがりました。一度は、あきらめた取り組みだっただけに、喜びもひとしおだったので、作品タイトルは「成し遂げた喜び」とつけさせていただきました。審査員の寸評でも「カーテンの高さ、広がり成し遂げられた喜びにあふれています。」という評価で大変光栄に思いました。本事業

の目的は、グリーンカーテンを育てる事でコミュニケーションが生まれ、植物を育てるといふ楽しさ、育てたものを収穫して食べる喜びという楽しみながら温暖化防止に繋げることであります。春の種まきから秋の表彰までの間、利用者さんと職員が一つになり、酷暑のなかでも、涼しさや、ほのぼのした感覚を共有できました。

(みどり園施設長：菅原 敦)



受賞作品 テーマ「成し遂げた喜び」



環境省で表彰状をいただきました



高山松太郎伊勢原市長へ受賞報告

第19号の内容

特集 フォトコンテスト入賞 1

NEWS ----- 2・3

ピックアップ ----- 4・5

もろさんが行く ----- 6・7

完成間近伊勢原スタジオ ---- 8



法人本部

法人本部や各施設では職員採用や園児募集等の効果と共に、職員の働くモチベーション向上の為に『ブランディング』を進めています。

そして今年より毎年10月1日を『ホームページ一斉点検の日』として確認訂正を行いました。



岡崎 晃浩氏 石田 英弘氏 井上 明美氏

神奈川県社会福祉協議会では多年にわたり社会福祉事業などに貢献した人に対して表彰を行っています。そして今年度、緑友会からは岡崎清川ホーム施設長、石田同副施設長、井上総務部主任の3名が受賞の栄に輝きました。

法人本部



清川ホーム

清川ホーム保護者会の皆様による支援委員会の事業として利用者さんの散歩道であり、多くのハイカーの方が訪れる村道の傍らに今年もベンチを設置して下さいました。ありがとうございます。



本厚木ふたば保育園

4月に開園したばかりの本厚木ふたば保育園ですが避難訓練やお誕生会を毎月行う他、七夕飾りやプール開き、防犯教室等のイベントを随時、実施しています。写真は8月の『夏まつり』で多くの皆様に御参加いただき、楽しく開催できました。



伊勢原ふたば保育園

『ヤンキー先生』として有名な義家弘介参議院議員（当時）が年長さんのクラスで特別授業を行って下さいました。楽しい授業に園児や職員は大喜び。貴重な機会になりました。



みどり園

障害児のご家族は、夏休みをはじめ学校の休業期間に疲れを少しでも低減することが重要です。今年も成瀬小学校はじめ関係者の皆様の御理解と御協力ですべての事を乗り越えることができました。

保育士の森下先生ともろさんをお訊ねしました。

M. 森下先生

QM. 質問をするもろさん
AM. 答えをするもろさん

今回の「もろさんが行く3」は、もろさんがもろさんも訪問するという異色版です。「伊勢原ふたば保育園」の卒園アルバムを作り始めたのは平成16年でした。今年は丁度10冊目に当たります。園では毎年一冊づつを保存しています。右の写真のように大きなデスクにいっぱいです。最初の5年間は、写真の選択は保育士さんをお願いして、写真のサイズや色合わせそして編集までもろさんがやりました。・・・それはいいや



10冊を並べたら大きな机に一杯に

QM. アルバム作りキッカケは？

AM. その頃は、アルバム台紙だけを製作し、中側の写真は保護者の方にお任せでした。何かの折に、”中身の写真付きがいいわね”との提案があったのでしょ。そこで、中の写真も園側で入れるようになりました。

QM. 簡単に作り方の手順から教えてください。（ここから今年度の担当森下先生が加わります）

M. 卒園児は「ばら組」さんです。さまざまな行事を中心に、写真を撮影する時から、なるべく全員のお子さんが写るように、アングルを変えたり場所を変えたりして沢山の写真を撮影します。次に出来るだけ皆が均等に登場するように写真を選び、ページ編集をします。トリミングや色合わせ、そして色合の調整などもやります。パソコンの操作に慣れるまでが大変でした。

QM. 忙しい保育の合間を縫ってやるのも大変ですよえ。

M. 子供たちが午睡中のちょっとした時間などにやっています。パソコンを片手に一年掛りです。編集が終わると試し印刷をして園長先生の査閲をうけます。ここまで進むとまず一安心です。



パソコンに片手に奮闘の森下先生

QM. ところであの可愛い台紙はどうやって作っていますか？

M. 60cm×40cm位の画用紙を準備。その年のテーマを決めて、子供たちがクレヨンで絵を描きます、それをそのまま業者さんをお願いしてアルバムの台紙を作ってもらいます。

QM. 完成したアルバムを保護者の方にお渡しするのはいつですか？

M. アルバムのメイン写真は、下の写真でご覧のように卒園証書を園長から受け取る場面と、証書を子供たちから保護者に一言を添えて渡す場面と二枚のカットを貼り、全員の集合写真、先生方の全員写真と卒園名簿のページを作り、担任の先生から子供たちへの書き置きページが揃ったところで、アルバムへの綴じ込みをしてやっと完成、3月の末日に子供たちに手渡します。

M. 写真は主に、ばら組の先生達で撮るのですが、多くの先生によるアルバム製作委員会の皆さんのお陰によるところが多いのです。
卒園式のあと、最後に荷物の整理に来られた保護者の方から”アルバムを見たわよ。素晴らしい贈り物ありがとう。子供たちの一生の宝ね”という一言をいただいた時、一年間の苦労が飛んでゆきます。



アルバムの台紙です



卒園式の証書受取場面です

もろさん

もろさんの経歴：会社役員を経て、現在はお店を経営
岩崎理事長とは長い付き合い。
緑友会の評議員を経て、現在広報担当の理事になりました。法人の話題のほか、市内や県内、気になるところに行ってお話をうかがいます。



緑友会理事 諸橋 晃

ピックアップ1

人材育成

緑友会では新採用職員に事前の研修会を行っています。法人の基本理念や社会人としての心構えなど基本的な事項についての説明のほか、実際に現場にはいって慣れていただくことに主眼をおいています。新人職員を育てることも大切ですが、職員全体のモチベーションを維持向上させることは、それ以上に困難かつ重要な課題です。

毎年9月に法人全体で実施している職員意向調査でも、施設利用者や保育園の子どもたちのニーズに応えるため、自分自身のスキルアップを願う声が出ています。職員の熱意にこたえと共に、人材の育成をはかる観点からも研修の充実を更にすすめる必要があります。

伊勢原ふたば保育園では厚生労働省の新保育所保育指針を勉強なおす研修会が始まりました。保育士の原点に立ち返るとともに、最新の課題を保育に取り入れるためにも学ぶことが欠かせません。毎月1回の職員会議を15分短縮し、園長のレジメをもとにみんなで「子どもの発達過程」や「保育に関わる配慮事項」を読み合わせることに始めています。

新人もベテランも学びを通して、より謙虚な姿勢で子どもたちに接する機運が芽生えています。



保育士の学習会風景

ピックアップ2

清川ホームの避難訓練

清川ホームでは自然豊かな環境のもと、20歳から77歳まで53名の方が生活されています。日中は椎茸栽培や燃料用薪づくりなどの作業をしたり、散歩で健康増進につとめています。利用者の中には心臓疾患など医療上の配慮が必要な方も多数おられます。看護師を中心に服薬や受診のほか、AEDを導入し定期的な職員研修会を行い緊急事態への対応力を高めています。

中でも毎月の避難訓練はホームの大切な取り組みです。訓練で重要視しているのが地震の時と火事のの違いです。避難方法の違いを毎回利用者さんと確認し、伝達がきちんとできているか話し合います。

昨年11月30日、職員と利用者さんが一緒に厚木にある神奈川県総合防災センターを見学し、震度7の揺れを体験してきました。皆、揺れの激しさに驚き、大変良い経験になりました。

職員の力量向上はもちろんですが、利用者さんのひとりひとりが自らの命を守る行動がとれるようにはたらきかけることも大切と考え、取り組んでいます。

(清川ホーム 斉藤 和子)



もうすぐ震度7体験です



訓練が終わり、ほっと笑顔も。

ピックアップ3

シリーズ相談 その4 表情が大切

緑友会の保育園経営スローガンが「コミュニケーション共有」です。園児や保護者、地域の方々や、行政の皆様と職員が積極的にコミュニケーションを密にして園児の健やかな成長をを実現して行くことを目指しています。

コミュニケーションは通常「ことば」を通して行われます。しかし、話しことばを理解することがまだまだ難しい乳児に対しては視覚にうったえる具体物やサイン、身振りが有効です。また聴覚障害の方々が使用する手話も「見るコミュニケーション」といえます。手話では広げた親指と人差し指をあごに沿って滑らせて「好き」を表現しますが、その時の顔の表情が重要だと言われています。無表情に「好き」を手のみで表現してもおそらく気持ちは伝わりません。好き、大好きという気持ちを動作に表情をまじえて相手に伝えます。

その時、話す人の表情は言葉や手話の手の型以上に大きな意味を持っているのです。ことばをまだ獲得していない小さな子どもが親や保育士の表情を読み取って応答し、表情のやりとりを通して、ことばや動作を獲得していきます。

穏やかな語りかけ、豊かな表情がコミュニケーションの基本です。相談場面に限らず、子どもたちとの日常会話にも表情の大切さを今一度意識してみましょう。



かぶと虫ともお話ができます (本厚木ふたば保育園にて)

ピックアップ4

ピックアップ4 特別支援学校の生徒増加

従来の障害児教育を『特別支援教育』と呼ぶようになって5年が経過しました。養護学校等の名称は残っているものの、視覚・聴覚・知的等の障害や肢体不自由、病弱等の児童生徒が通う学校は特別支援学校となり、市町村にある小学校や中学校の中に特別支援学級も数多く設置されてきました。更に、通常のクラスでも困難を抱える発達障害の子ども達を含めて特別支援教育の対象とすることになりました。

以上のように体制は整備されてきた理由の一つが、社会全体では子どもの数が減っているものの特別支援教育を受ける子どもの数が下表の通り増加しているということです。

	平成14年	平成23年
小・中学校に通う特別支援学級数	5522人	10986人
特別支援学校の児童生徒数	4991人	7522人

(「神奈川の特別支援教育資料」より)

学校や学級の現場では様々な課題がありますが、特別支援学級は中学校までであり特別支援学校の高等部には数多くの生徒が集中します。特に、知的障害養護学校高等部の生徒の増加が著しく、神奈川県ではこれまでに県立高校20校の空き教室に養護学校高等部の分教室を設置して受け入れています。しかし、小学校、中学校の支援学級生徒増からも推察できるように今後も高等部生徒増の傾向は続くことが予想されます。伊勢原でも昨年4月から県立伊志田高校に伊勢原養護学校の分教室が設置されました。特別支援学校の生徒増加の問題は卒業生の進路問題につながってきます。今後は学校ばかりでなく地域福祉の観点からもこの課題の検討が迫られています。

ピックアップ選者

選者経歴：元伊勢原養護学校校長
元県教育相談専門員

現在、県内の専門学校で保育や障害の教鞭をとると共に、当法人の理事兼総合施設長として各施設にて相談や指導を行っています。



緑友会理事
三田 良典

「きもの×北鎌倉×コンサート」

もろさんもミニコンサートを聞きに行くことはありますが、これは実に感動したコンサートでした。なによりも馴染み深い曲、例えば「戦場のクリスマス」「ジュピター」等々を中心に構成された2時間は本当にバッチグーでした。

シチュエーションは北鎌倉の臨済宗総本山「円覚寺」大方丈です。着物を着てゆくののが前提のコンサートで、娘と孫が私の知らぬ間に予約をしていました。着物は先方で準備してありますとのこと、たまには鎌倉の紅葉見物も兼ねてと同行しました。

パンフレットには「玉Y u 薇」～tamayura と題し、琴・笙・ヴァイオリン・ビブラフォンの和楽器と洋楽器のクロスオーバーユニットが出演。「たまゆら」とは「宝石がふれあってホンの一瞬奏でられる美しい響き」をあらわす・・・とか。

演奏者の皆さんは、東京音楽大の卒業者とか1000年来、笙を家業とする「豊家」のお嬢様とかNHKの出演者とか、そうそうたる4名が出演。普段は立ち入り禁止の大方丈の仏像の前で、着物姿の視聴者が100名あまり（男はほとんどレンタル品、中にはお爺さんの形見ですとか）を前に演奏されました。着物姿の若い鎌倉市長のご挨拶があり、古都+着物で若い人が日本の文化に触れて欲しいとの趣旨に賛同した「徳しば」と云ふ呉服屋さんがプロモートしたものの紹介がありました。



ご本尊のお前で、左から
琴：大平光美さん 笙：豊明日美さん
ビブラフォン：臼井麻意子さん
ヴァイオリン：河野百合名さん



紅葉に染まる、臨済宗総本山 円覚寺

頑固百合（ゆり）

あえてこんな名前をつけました、写真をご覧いただければ一目瞭然、よくもこんなアスファルトの道路の中から芽が出て茎が育ち、そして立派な花が咲いたものだと感心しました。



二本の茎から見事な花が7個も咲く

おそらくアスファルトの厚さは5センチはある筈、下に百合の球根があったことも忘れ、家の改築に伴うセットバックで道となり、アスファルトが敷かれローラーで押し固められました。

ほんの僅か5ミリにも満たない小さな穴から出てきた芽は、去年の暑かった毎日を思い起してください。それでも元気に生き抜き、立派な花を咲かせました。頑固百合にあやかり、今年も皆さん元気に頑張りましょう。



寒い12月も早芽が見えた



廻りは硬いアスファルト



みどり園

9月に行われた神奈川県議会議員補欠選挙で初当選された渡辺新県議が早々にみどり園の視察を行って下さいました。障害福祉の課題や夢について熱心に学ばれる姿勢は素晴らしいと感じました。



つくし

フジケース様からいただいている作業に新名所東京スカイツリー土産の箱作り（組み立て）があります。全国から訪れ、各地に思い出と共に持ち帰られるお土産の製作に加われることは夢があり楽しみです。一生懸命に組み立てています。



つくし相談室

昨年3月末まで伊勢原シティプラザで行われていた障害者の相談事業が4月より民間事業者だけで行うこととなりました。つくし相談室登録者も増加の一途で、あり方の再検討を行っています。



サテライトつくし

現在のつくし（就労継続B型事業所）の利用者増加等に対応するため平成26年4月開設を目指し本年4月よりつくし内に仮称サテライトつくしを開設します。3月頃に内覧会を予定しています。



みどり園

伊勢原市農業協同組合の成瀬支所グリーン・コミュニケーション様より春先のじゃがいもに続き12月にも長ネギを30kg御寄付いただきました。お心遣いに厚く御礼申し上げます。



法人全体

緑友会では正職員と常勤補助職員全員に対して意向調査を毎年実施しています。体制変更に伴い今年度からは結果検討委員会の開催や書面による3階建て回答等、声を生かす努力をしています。